

子育て世帯・移住者ヒアリング結果

—— 子育て施策の課題と、移住者から見た村上市の魅力と課題 ——

子育て世帯ヒアリング

実施日：2026.12.12

実施場所：情報センター（子育て支援センタークリスマス会）
山北そらいろ保育園

対象者：親子18組

分野別分類

—— 分野別意見の整理 ——

遊び場

意見数
28 件

神林の屋内遊び場や支援センターなど、既存施設は一定の評価を得ており、安心して遊べる場として活用されている。
市域が広い中で屋内遊び場の地域による偏在があり、利用しにくい地域があることが課題として挙げられている。また、雨天時や休日に利用できる遊び場が不足しているほか、公園の遊具や設備が年齢に十分対応していない点も指摘されている。身近で幅広い年齢の子どもが利用できる遊び場の充実が求められている。

支援制度

意見数
23 件

各種手当や医療費助成など一定の支援が整備されている点は評価されている。どのような制度があるのか分かりにくい、必要な情報が十分に届いていないといった声が見られる。また、手続きの分かりにくさや利用のしづらさを指摘する意見もあり、支援が十分に活用されていない状況がうかがえる。必要な人に必要な支援が届くよう、分かりやすい情報発信と利用しやすい制度運用が求められている。

生活

意見数
20 件

自然環境の良さや落ち着いた生活環境は評価されており、子どもをのびのび育てられる点が魅力とされている。
市域が広く、買い物や通院、通園・通学など日常生活における移動負担が大きいことが課題となっている。また、公共交通の利便性や子育て世帯向けの生活サービスの不足を指摘する声もある。安心して子育てができるよう、生活利便性の向上や移動手段の確保が求められている。

保育・教育

意見数
18 件

保育園や学校の先生への対応が丁寧で、子ども一人ひとりに寄り添った保育・教育が行われている点は評価されている。また、自然を生かした体験活動など地域ならではの教育環境も魅力とされている。
保育士不足や受入体制への不安、延長保育や休日保育の充実を求める声があるほか、学校規模の縮小や教育環境の将来への懸念も挙げられている。安心して預けられる体制と教育環境の維持・充実が求められている。

医療

意見数
15 件

小児医療体制については、一定の医療機関が整備されており、日常的な受診ができる点は評価されている。
休日や夜間の受診体制に不安を感じる声や、専門医の不足、診療科の選択肢が限られていることが課題として挙げられている。また、市域が広いことから通院に時間がかかるなど、アクセス面での負担も指摘されている。安心して子育てできるよう、医療体制の充実と受診しやすい環境づくりが求められている。

—— 山北地区意見の特徴 ——

市内中心部から距離がある立地のため、医療機関や遊び場、買い物などへのアクセスのしづらさや、移動負担の大きさに関する意見が特徴的に見られる。また、近隣に選択肢が少ないことから、施設やサービスを「選べない」ことへの不安や制約も意識されている。日常的に利用する中で、地域内で完結しにくい生活環境が背景にあり、距離や立地条件に起因する課題が具体的に表れている。

移住者ヒアリング

第1回 移住者ヒアリング

2026.1.29 地域おこし協力隊等1名、転勤者3名、その他移住者1名

第2回 移住者ヒアリング

2026.1.30 地域おこし協力隊等2名、その他移住者2名

分野別分類

—— 分野別意見の整理 ——

地域づくり

意見数
14 件

移住施策や受入環境については、空き家バンクの情報不足や使いにくさ、物件の偏在など、住まい確保の難しさが課題として挙げられている。
また、地域に受け入れられるまでには時間を要し、移住者と地域をつなぐ役割の必要性や事前の関係づくりの重要性が指摘されている。さらに、自治会費や地域行事など、移住後に初めて分かる負担や慣習についての情報提供も求められている。
移住支援制度は評価されているものの、情報発信や制度の分かりにくさが課題であり、あわせて仕事の確保が移住の前提条件であるとの意見が示されている。

魅力・弱み

意見数
9 件

村上市の魅力としては、海・山・川がそろって豊かな自然環境と食文化の充実に加え、空気や水の良さ、四季の変化を感じられる暮らしが高く評価されている。また、地域住民の挨拶や助け合いなど、人の温かさやゆとりある生活環境も大きな魅力である。
村上市の弱みとしては、仕事の選択肢の少なさや公共交通・広域移動の不便さ、医療体制への不安など生活基盤面の課題が挙げられるほか、情報発信の弱さや空き家・支援制度の分かりにくさなど、移住前後のギャップにつながる点も指摘されている。

山北地区

意見数
6 件

山北地区については、しな織りや焼き畑などの伝統文化が今も受け継がれ、自然と共に暮らす自立的な生活様式が残っている点が大きな魅力として評価されている。また、住民同士のつながりが強く、地域主体で日々の暮らしを大切にする風土も特徴である。
積雪の多さや交通の不便さ、買い物環境の制約など生活面での負担があるほか、人口減少や高齢化の進行により、地域活動の担い手不足や将来的な集落維持への不安も課題として挙げられている。

公共交通

意見数
4 件

市内移動や広域移動の不便さが課題として挙げられており、通勤や通院、買い物において自家用車への依存が大きい状況にある。
また、新潟市など周辺都市への通勤需要もあることから、広域移動を支える交通手段の確保や利便性向上が求められている。

健康医療

意見数
3 件

産婦人科が市内にないことへの不安が指摘されており、特に子育て世帯にとっては重要な課題となっている。
また、健診や各種手続きについても、制度や案内が分かりにくいとの意見があり、利用しやすさの向上が求められている。

広報広聴

意見数
3 件

移住や制度に関する情報発信が弱く、必要な情報が見つけにくいとの意見が見られた。特に、ホームページや制度案内が分かりにくく、内容が十分に伝わっていないことが課題とされている。
LINE等による情報配信は、生活に役立つ情報が届く点で評価されている。

—— その他意見の整理 ——

高齢化や人口減少の進行により、集落の将来維持への不安や働く場の不足による若者流出が懸念されている。こうした中、将来の地域のあり方としては、日々の暮らしに満足し、穏やかに生活できる環境を維持することの重要性が指摘されており、人口増加そのものを目的とするのではなく、交通や買い物などの生活基盤を確保しながら現在の暮らしを持続できる地域であることが求められている。